

中播磨 Wa' Wa' Wa'

編集・発行
姫路市北条1-98 姫路総合庁舎
兵庫県中播磨消費者センター

しんぶんを通して、人のWa'・平和のWa'・話のWa'など限らないWa'に出会いたい…そんなWa'を伝えていきます。
(生活創造応援隊 一同)

はりまの古民家No.5 創刊100号記念号!



も く じ

特集 ぶら〜り町歩き	
はりまの古民家 in 姫路	P2
消費生活情報	P3
Wa' Wa' Wa' 創刊100号の歴史	P4

版の会 中塚 勝美

Wa' Wa' Wa' 100号の表紙に国指定重要文化財「古井家住宅（千年家）」が選ばれたこと嬉しく思います。私は子どもの頃、この古井家住宅（千年家）を「ふるや」と呼んでいました。古井家には同級生もおられたので、いろいろ端で遊んだ思い出があります。この近辺にはトンビが住み着いております。

中播磨の行ってみたいこんなところをご紹介

ぶら〜り町歩き

はりまの古民家 in 姫路

～古井家住宅・奥播磨かかしの里を訪ねて～

秋風が心地よい一日、9名で取材に行きました。

まず姫路市の国定指定重要文化財で、建築当時より火事に遭うことなく今日まで残されていることから、無災の「千年家」と呼ばれている古井家住宅を訪れました。

千年家は室町末期の築造で、有力農民の家と推定され、民家としては、全国でも一・二を争う遺構であるとされています。

昭和42年に重要文化財に指定され、痕跡や資料にもとづき、できうる限り建立当時の姿に復元されたようです。柱や壁板はカンナ・のこぎりを使わず、

「はまぐり刃のちょうな」で削って仕上げであり、そのリズムカルな削り痕に魅了されました。また、低く作られたかまどは、煙が床下から屋根に廻るようにし、ふすべることにより、害虫駆除と柱や竹、縄などの強化を図るように考えられていたようで、昔の人の生活の知恵を知りました。

表の間にはお社があり、そこには万年無災の「亀石」と称される大きな石がこの家の守り神として祭られています。その昔、家を建てるときに石が裏山から転び入り、邪魔になるので川に捨てた所、あくる朝には元の所に戻っていたと言われ、付近が大火に見舞われた時、水を噴いて延焼を防いだとも伝えられています。また、豊臣秀吉が姫路城を築いたときに、その縁起をかつぎ、この家の古い榿（たるき）を天守閣の用材に加えたと記されています。周りが緑に囲まれた苔むした茅葺屋根の千年家で、当時の人たちの生活に思いを馳せ現在の生活の有難さを思いました。

その後、千年家から車で10分ほどの、奥播磨かかしの里に向かいました。関地区に入ると沿道のあちこちで、村人と見間違える程精巧な、等身大のかかしに出会います。

企業の保養所を買い取り、関自治会館として活用されている建物に案内され、出迎えてくれたのは、イベントに参加するために製作され、出番までソファでくつろいでいるかかし達でした。かかし創作者でもあり、ふるさとかかし親の会 会長の岡上正人さんからお話を伺いました。



【古井家住宅（千年家）】

岡上さんは12年前に赴任先の徳島県で地元の女性が作ったかかしに魅了され、「かかしでふるさとに活気を！」と、関地区の実家に工房を構え、かかし作りを始められました。

現在関地区は9軒、13名、かかし130体で構成され、村のあちこちにかかしが村の一員として溶け込んで生活をしていて、かかしか人か、分からなくなる不思議な村です。



【自治会館内のかかし達】

今は1週間交代で実家に来られ、かかしの製作や、かかしは雨ざらしで色あせるため、半年に1回は着替えないといけないとのことで、その補修作業、草刈、地域おこしのためのイベントなどを忙しく一人でこなされているとのことでした。

不要な衣類、長靴、帽子、着物などがあれば寄付をお願いします、と話されていました。

11月7日には、第11回ふるさとかかしサミットが開催され、各地で町おこしに活躍している人間そっくり

のかかし達が集合し、12月8日には、集落一帯に花桃の苗木を植樹するイベントが開催されるそうです。毎年1月中旬から4月には、ひな壇に人が並んでいても見分けがつかない、等身大かかしのひな祭りがふれあいの館等で展示される等、一年を通していろいろなイベントが開催されるようです。

岡上さんは奥播磨かかしの里を、こころのふるさと、第二のふるさと、とあっていつでも訪ねて来て下さいと、熱く語られていました。

帰りに、思わず声を掛けたくなるかかし達が、昔の懐かしい生活をしている古民家を訪ね、かかしの教室の参観日で、元気な子ども達を参観し、岡上さんとかかし達に見送られながら、かかしの里を後にしました。

【生活創造応援隊】 大野 律子、小國 冷子、木村 利恵子



【かかしの教室】

消費生活情報 ~くらしに役立つ情報をお届けします~

障がい者のネット通販 周りの人も見守って

【事例】知的障がいのあるグループホームの入居者が、ネットで初回980円の脱毛クリームを購入した。昨日2回目が届いたため定期購入だとわかり、職員の私に相談があった。入居者本人から事業者に連絡したところ、5回分を受け取って代金を支払わないと解約できないと言われたそうだ。すぐに解約できないか？

消費者へのアドバイス

- ◆繰り返し同様のトラブルに遭うこともあるため、家族や周りの人が継続して見守ることが必要です。
- ◆インターネット通販のトラブルが障がい者にも起きています。大きく目立つ文字で書かれている部分だけでなく、表示を隅々まで確認するなど、家族や周りの人はインターネット通販を利用する際の注意点を本人としっかり話し合っておきましょう。
- ◆家族や周りの人が問題気づくことが障がい者の消費者トラブルを防いだり、早期解決するために大切です。日頃から本人とコミュニケーションを取り、いつもと違った様子はないか、不審な商品や請求書はないかなど、気を配りましょう。

消費者ホットライン ☎ 188 (いやや!)



お近くの消費生活センター等につながります。

～ 「 Wa' Wa' Wa' 」 創刊 100 号の歴史～

生活創造応援隊の方々を中心に、中播磨管内の生活創造活動を支援し、様々な魅力を発信するため、平成 14 年に「生活創造しんぶん」創刊号が発行されました。17 号よりタイトルを「生活創造しんぶん Wa' Wa' Wa' 」に変更するなど、形を変えつつも令和 3 年に 100 号を迎えることができました。そんな Wa' Wa' Wa' の歴史を少しだけご紹介します。これからも新たな Wa を学び、Wa を結んで、ステキな Wa を伝えていきます。

【創刊号（平成 14 年 9 月）】



創刊号が発行されたのが今から 19 年前。掲載されている当時の写真や「夢前町」「大河内町」の文字を見ていると少し時代の流れを感じます。

【23 号（平成 18 年 5 月）】



23 号より表紙に「版の会」による版画作品を掲載することになりました。Wa' Wa' Wa' の歴史＝版の会の歴史とも言えるほど長い間協力いただいております。

【60 号（平成 24 年 7 月）】



60 号より中播磨管内の魅力を発信する「ぶら～り町歩き」が始まりました。また、表紙には 56 号より 21 回に渡って「銀の馬車道」に関連した版画が掲載されています。

【87 号（平成 30 年 6 月）】



87 号よりカラーでの印刷となったため、より読者の皆様に読んでいただきやすくなりました。今後も皆様に楽しんでいただけるような記事の作成に努めてまいります。

兵庫県中播磨県民センター 県民交流室 県民課（消費者センター）

〒670-0947 姫路市北条 1-98 兵庫県姫路総合庁舎 2 階

【電話】079-281-6023 【FAX】079-281-3015

【Eメール】nkharikem@pref.hyogo.lg.jp

【消費生活相談】消費者ホットライン 188 *最寄りの消費生活相談窓口につながります。

【ホームページ】<https://web.pref.hyogo.lg.jp/chk12/shohi/shohiseikatsu.html>

